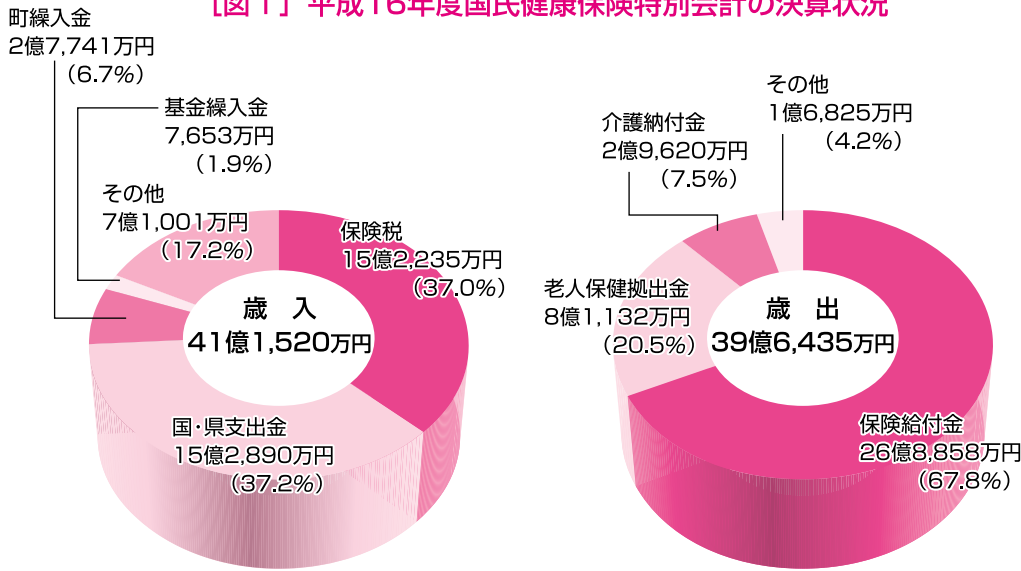
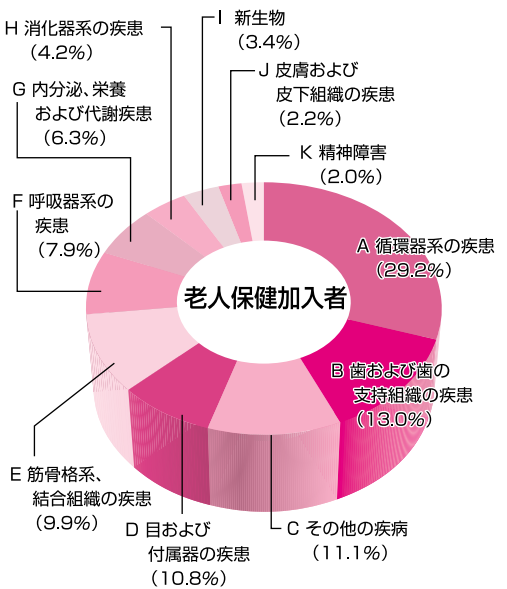


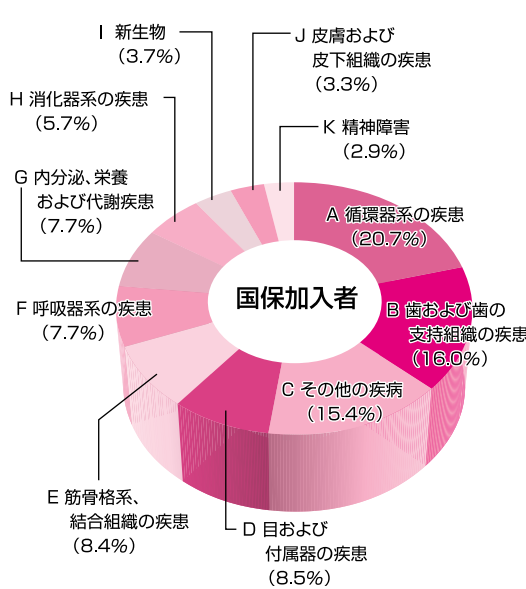
【図1】平成16年度国民健康保険特別会計の決算状況



【図3】医療費の分析 (平成17年5月)



【図2】医療費の分析 (平成17年5月)



病名	件数
A 循環器系の疾患	2,145
B 歯および歯の支持組織の疾患	953
C その他の疾病	813
D 目および付属器の疾患	792
E 筋骨格系、結合組織の疾患	731
F 呼吸器系の疾患	578
G 内分泌、栄養および代謝疾患	462
H 消化器系の疾患	312
I 新生物	248
J 皮膚および皮下組織の疾患	164
K 精神障害	151
計	7,349

病名	件数
A 循環器系の疾患	3,517
B 歯および歯の支持組織の疾患	2,723
C その他の疾病	2,623
D 目および付属器の疾患	1,436
E 筋骨格系、結合組織の疾患	1,429
F 呼吸器系の疾患	1,308
G 内分泌、栄養および代謝疾患	1,295
H 消化器系の疾患	969
I 新生物	623
J 皮膚および皮下組織の疾患	569
K 精神障害	497
計	16,989

問 保険年金課国民健康保険係 ☎ (70) 0334

国民皆保険制度

私たちは、いつどんな病気やけがをするか分かりません。そんなとき、安心して病院に受診できるよう、何らかの公的な医療保険に全国民が加入することになっています。国民健康保険は、職場の保険に加入している方や、生活

国民健康保険は、皆さんの病気やけがに備えて、加入者がお金を出し合い、医療費などにあてる支え合いの制度です。現在、国民健康保険は医療費の増加、制度の変更によって厳しい運営状況となっています。

医療費の増加と保険料

保護を受けている方を除いて、すべての方が加入することになっています。町で負担する保険給付費は、平成15年度は24億8,800万円、平成16年度は26億8,858万円と大幅に増えました。

医療費が増えると、一人ひとりが納める保険料も増えてまいります。医療費を少なくすることは、保険料の負担を減らすことにつながります。平成16年度の決算状況は、

「図1」とおり、平成16年度の決算状況は、

薬代を節約するために

医療用医薬品には、同じ成分、同じ効き目で値段の高い薬と安い薬があります。高い薬は、日本で最初に発売された薬で先発品と呼ば

れ、安い薬は、薬の特許が切れた後に厚生労働省の承認を得て発売される薬で後発品と呼ばれています(ジェネリック医薬品とも呼ばれています)。薬の特許が切れれば、開発メーカーの財産から、国民共有の財産となります。そこで、同じ成分、同じ効き目の医薬品が安い価格で、ジェネリック医薬品メーカーから販売可能になります。国の方針として採用が進められていくジェネリック医薬品ですが、どこの医療機関でも採用している訳ではありません。

ジェネリック医薬品を使うには医療処方が必要ですが、かかりつけの医師または調剤薬局で相談してみてください。

皆さんの安心と健康を支える

国民健康保険

医療費がかさむ病気は

平成17年5月診療分医療費の分析結果を見ると、国保加入者、老人保健加入者とも循環器系の病気(心臓病、脳卒中、高血圧)が多く割合を占めています。「図2・3」高齢者になると、高血圧や脳疾患などの慢性的な病気により長期間の治療が必要になってくることも考えられます。病気が早期発見による治療が大切となります。

医療費の増加の理由としては、高齢者の増加や医療の高度化もありますが、生活習慣病をはじめ、治療に長い期間を要する慢性疾患の増加や何れも病院を替えて受診したり、薬を過剰にもらったりすることも原因となっています。

大網病院だより⑭

糖尿病① 誘因と症状

現在、生活習慣病としての糖尿病が注目されています。当院でも、糖尿病の治療で受診されている患者の方が大勢います。

糖尿病は、うまくコントロールできれば怖い病気ではありません。上手に付き合っていくことで、合併症も防げるのです。患者の方々がこれからの人生を楽しく生きるために、医療関係者として協力できたら幸いです。

<糖尿病とは>

血液中のブドウ糖が増加して、尿の中に糖があふれてきた状態です。実際は血液中のブドウ糖の量(血糖値)をもとに判断します。原因は、インスリンの作用不足(すい臓でインスリンがほとんど作られない、インスリンが適切に働かないなど)が考えられます。

<糖尿病になる誘因>

遺伝的素因があります。その他にも次のようなことが考えられます。

食べ過ぎ、飲み過ぎ、太り過ぎ、運動不足、高血圧、ストレス、妊娠など

<糖尿病の症状>

疲れやすい、のどがかわく、すぐにお腹がすく、食べているのに体重が減る、尿量が多いなど

糖尿病の初期段階では、無症状なことが多く、症状が出るころには、かなり進んでいます。

必ず定期検診を受け、早期発見・早期予防に努めましょう。検診等で指摘された場合も、速やかに受診することをお勧めします。

◆外来看護部で「コスモスニュース」を掲示

糖尿病についての「コスモスニュース」を院内に掲示しています。

質問用紙を院内に設け、患者の方からの質問などを「コスモスニュース」の中で答えていきますので、ぜひご覧ください。

申・問 大網病院 ☎ (72) 1121

歯科衛生士 だより

歯っぴーライフ

良い歯と健康な歯肉で

「11月8日は、いい歯の日です」

歯と口の健康を保つことは、単に食べ物をかむだけでなく、食事や会話を楽しむなど、健康で豊かな生活を送るための基礎となります。

そこで、「80歳になっても20本以上の歯を保とう」という目標「8020(ハチマル・ニイマル)」の達成を目指しましょう。

そのためには、次のような心掛けが大切です。

ムシ歯予防のため、フッ化物を利用する(フッ化物歯面塗布、フッ化物入りの歯磨き剤など)。

デンタルフロスや歯間ブラシなどを使って、歯と歯肉の手入れをする。

定期的に歯科検診を受ける。

また、よくかんで食べることは、ムシ歯や歯周疾患の予防に加えて、肥満や生活習慣病の予防につながるといわれており、全身の健康にとって大変重要です。

この日を機に、よくかんで食べる習慣を身に付けましょう。

町では、歯科相談を行っています。「ムシ歯や歯周病を予防したい」、「自分に合った磨き方や子どもの仕上げ磨きの方法を知りたい」など、歯科衛生士がアドバイスしますので、ぜひご相談ください。

電話でお申し込みください

▶日時・会場

- 第3(金)午後・保健センター
- 第1(金)午後・中部コミュニティセンター
- 第3(火)午前・農村環境改善センターいずみの里

申・問 健康福祉課健康指導係 ☎ (72) 8321

